

看護専門科目	広域発展看護学					
看護学科	必修	1単位	演習	平成30年度	前期	4年次
科目名	看護研究演習 I Practice of Nursing Research I					
担当教員	◎林みよ子 その他、助教以上の看護学科教員					
目的	看護研究方法論で学習したことをふまえ、論文の批判的な読解法をゼミナールによって体験的に学習する。そのうえ、自己の関心ある研究問題について、これまでに明らかにされた知見を活用して研究の背景や課題を整理することを通して、実用的価値の高い実現可能性の高い研究テーマを設定することができる。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自身が関心を持っていることから選択したキーワードを使って関連文献を検索できる。 2. 複数の関連文献から得た関心あることについての知見をまとめることができる。 3. 選択した論文を読んでその内容と自身の関心を持っていることとの関係を記述できる。 4. 自身の関心あることの研究の動向と背景を記述できる。 5. 自分の研究で取り組むテーマあるいはその方向性を記述できる。 					
他科目との関連	3回生開講の「看護研究方法論」が基礎になる。					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	レポート	目標（1～5）への達成度を評価する。				
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	坂下玲子ほか 系統看護学講座別巻「看護研究」（医学書院）					
参考資料	黒田裕子「Step by Step」（学研） バーンズとグローブ「看護研究入門」（エルゼビア） 山川みやえ「よくわかる看護研究論文のクリティーク」（日本看護協会出版会）					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	互いの研究に対する見方や考え方を刺激しあうことによって、課題発見力、情報収集力、情報整理力、読む力、書く力、データ分析力、プレゼンテーション力などの研究の基礎的能力を修得していきます。この能力は大学を卒業するまでに修得する課題とされていますが、看護学科の4回生にとっては臨地実習を縫っての学習となるので、着実に課題をこなすために綿密な計画を立てて臨んでください。					